

事業のあらまし

桑名東部拡幅は、三重県・愛知県境付近の一般国道 1 号における慢性的な渋滞を解消するために事業計画されました。拡幅区間内の揖斐川と長良川を渡河する伊勢大橋は、昭和 9 年に完成してから長年にわたり激しい道路交通を支え続けてきた結果、橋の傷みが進んだため、新しい橋を架けることになりました。新しい伊勢大橋は、広い車道、右折レーンの設置により交通渋滞を解消し、大きな地震にも耐えられる優れた橋へと生まれ変わります。

また、観光地や主要都市への交通の円滑化と地域の発展に大きく貢献します。

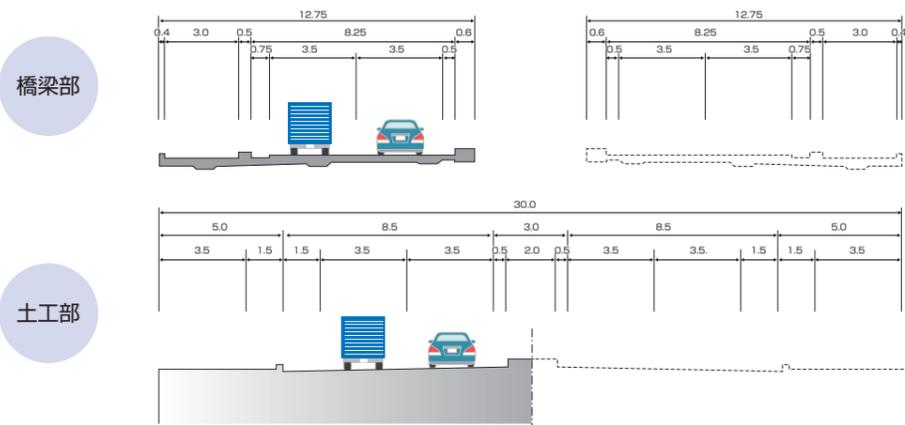
概要

- 起点 三重県桑名市長島町又木
- 終点 三重県桑名市北浜町
- 路線延長 3.9km
- 幅員 W=7.5m (2車線×3.5m)
- 構造規格 第4種第1級 設計速度 60km/h

平面図



断面図



事業の歴史

昭和 9 年度 伊勢大橋完成

昭和初年、国道 1 号で最大の障害は木曾三川の渡河でありました。当時の交通手段は渡し船だけしかありませんでしたが、自動車の普及や、四日市港を始めとする北勢地方の経済の活発化とともに陸路による名古屋への交通手段を確保する必要性が高まってきました。そこで、愛知県・三重県が、尾張大橋・伊勢大橋架橋計画を立て、それぞれ昭和 8 年 10 月と同 9 年 5 月に完成し、東海地方の交通に大きく貢献しています。

昭和 51 年度 事業着手

昭和 60 年度 都市計画決定

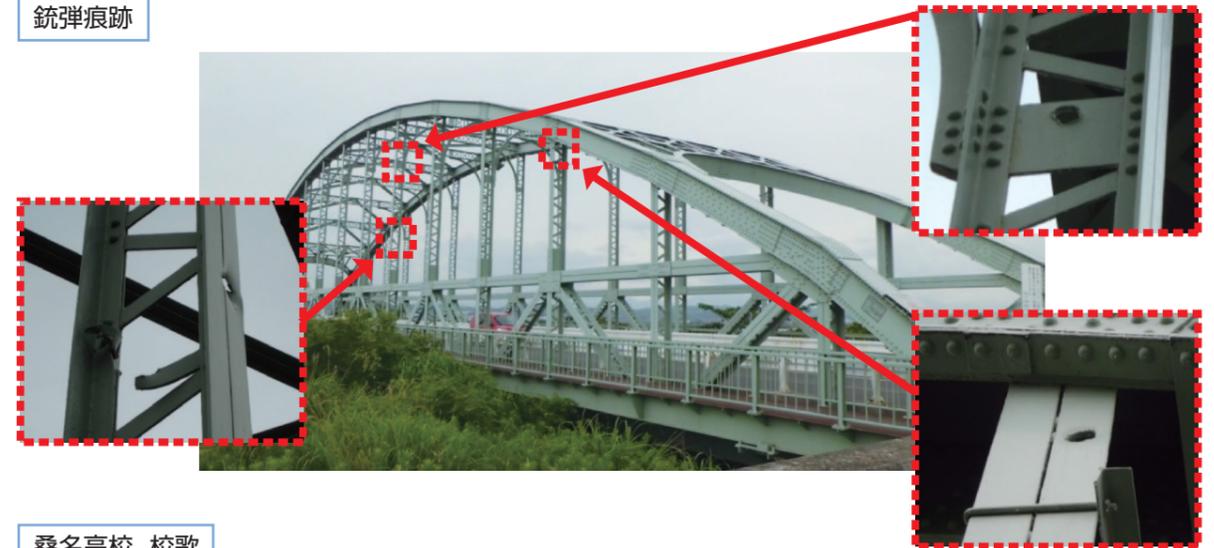
平成 15 年度 一部工事着手 (宮前交差点改良)

平成 19 年度 宮前交差点改良完成

平成 25 年度 伊勢大橋架替関連区間工事着手

伊勢大橋は、完成当時から桑名高校の校歌に歌われるなど地域の象徴となってきました。また、第二次世界大戦時の機銃機攻撃による銃弾痕跡がいまなお生々しく残っています。

銃弾痕跡



桑名高校 校歌

校歌

作詞 窪田空穂
作曲 信時潔

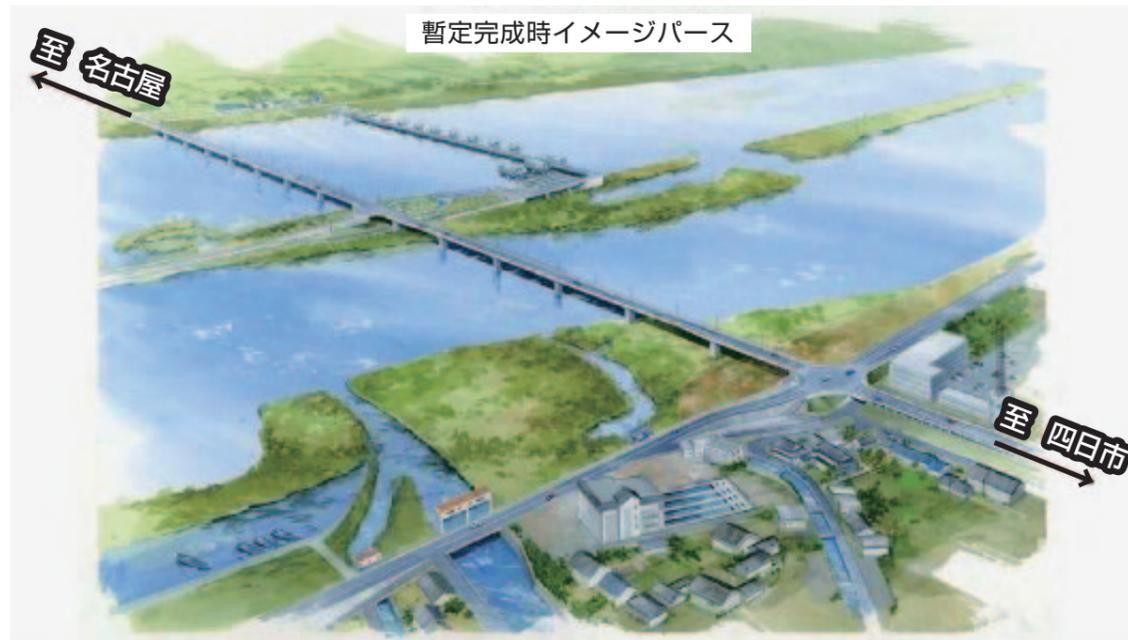
一、揖斐 木曾川に抱かれて
歴史も古し桑名の地
伊勢大橋の鉄の弧に
いま近代を誇る都市
こゝにわれらをはぐくめる
母校よ、桑名高等学校

二、藤原 鈴鹿背に負ひて
こゝ尾野山の丘の上
眼下ちかき川口は
魚介の幸も多きかな
ここにわれらをはぐくめる
母校よ、桑名高等学校

三、見よ渦潮の行くところ
希望は遠き大つ洋
朝日に匂う峰々に
吾等が理想宿るかな
中部日本の要なる
母校よ、桑名高等学校

現在の状況

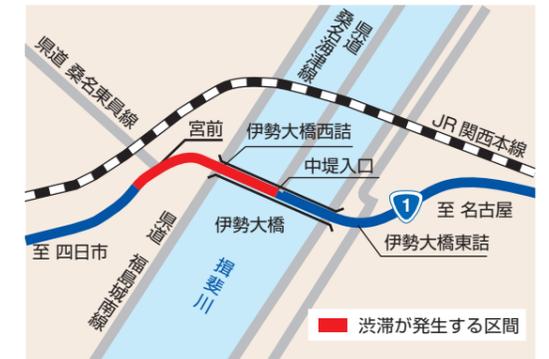
平成 25 年度は、桑名市長島町又木～桑名市北浜町間で伊勢大橋架け替えに必要な環境調査、事業損出補償等を推進することとともに、伊勢大橋取付部の道路改良工事に着手します。



整備効果

渋滞の緩和

道路拡幅による 4 車線化、右折レーンの設置により渋滞が緩和され、交通の流れがスムーズになります。

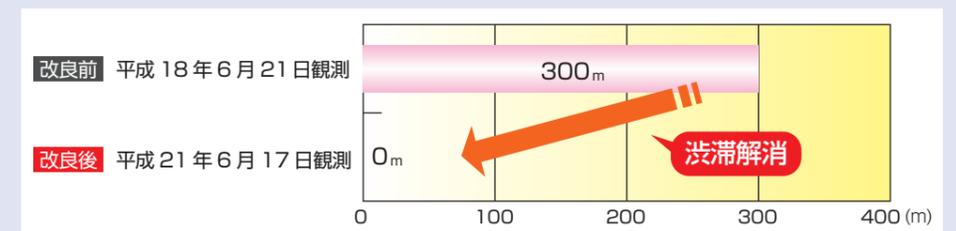


宮前交差点改良の効果

桑名市街側で渋滞の著しかった宮前交差点を平成 19 年に交差点改良を行い、渋滞を解消しました。

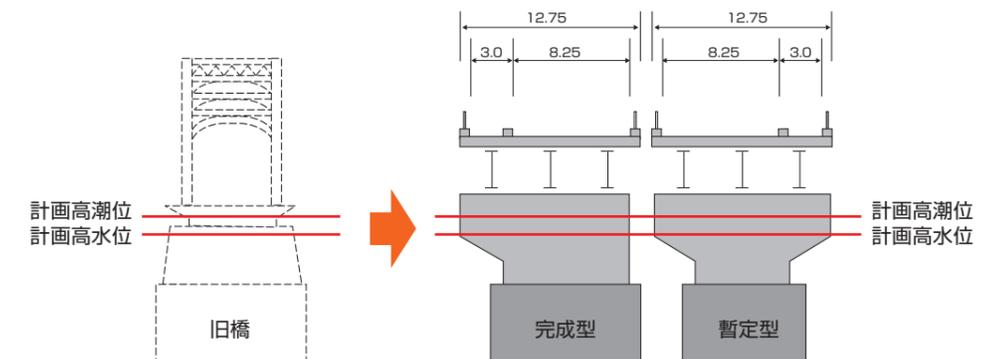


宮前町交差点下り方向の渋滞長変化



丈夫な橋

最新の橋梁の基準に基づいて設計することから、耐震性に優れた橋になります。そのため、地震時の避難経路や緊急輸送路の確保をすることができます。



安全な橋

十分な道路幅を確保し、車だけではなく自転車や歩行者の安全性にも優れた橋になります。新しい橋は、従来と比べ橋が高く、橋脚も細くなるため、川の流れがスムーズになり、周辺地域の水害の恐れが少なくなります。